

福島県立岩瀬農業高等学校

持続できるGAP実践手法を生徒・教職員で作り上げ、高校におけるGLOBAL G.A.P.認証取得品目数で日本一を達成。企業等と連携した商品開発や輸出への挑戦を通じて、農業の担い手育成や生徒のキャリアアップを実現。

代表者名：校長 高橋 豊治	面積：42ha
所在地：福島県岩瀬郡鏡石町	構成員：604名
認証：GLOBALG.A.P.(平成30年) JGAP(令和2年)	品目：米、野菜全般、果樹、乳用牛、肉用牛、採卵鶏 等

取組の紹介

【国際水準GAPの継続に向けた取組】

- 農場内のヒヤリハットの分析や収穫調製等の実施手順等を生徒自らが毎年、点検・見直しを実施。詳細なマニュアルを作成・更新し、毎年変わる生徒へ農場管理手法を継承。



GAP認証農産物を使った
サンドイッチとお弁当

【経営改善に向けた取組及び効果】

- 点検記録データを電子化することにより、農場管理を一元化。生産物の出荷見込量の予測精度が高まったことにより、連携先の企業等からのオーダーへの的確な対応が可能となった。
- 「岩農米輸出プロジェクト」を立ち上げ、令和3年に認証取得米をベトナムへ試験的に輸出。JETRO福島や郡山市、在ベトナムの企業等が参加する輸出調査報告会において、高い評価を受けるとともに、今後の販売戦略について意見交換。県産農産物に対する風評払拭の一助となる取組としても期待。



輸出調査報告会の様子

【人材育成活動】

- 企業や社会福祉法人、地域おこし協力隊等と連携し、同校の認証農畜産物を使用したお弁当やサンドイッチ、プリン等を共同開発。商品開発プロセスの体験を通じて、GAPの必要性を再認識し、農業関連産業に興味を持つ生徒が増加。



地域おこし協力隊とのコラボ(チラシ)

ホームページ

福島県立岩瀬農業高等学校ホームページ <https://iwase-ah.fcs.ed.jp/>